Art Activism

ト・アクティヴィズム73

官展にみる近代美術」 展

主担当・ラワンチャイクン寿子さんに聞く

北原 恵

みる近代美術」展が巡回中である。 「東京・ソウル・台北・長春 官展に

府主催の美術展覧会を指すが、 設の文部省美術展覧会 (文展) の源流となり、「日本美術」の場と権力を構築 した制度である。 「官展」とは、 一九〇七年 (明治四〇年) から始まる政 それは公募展 開

支配と統合の手段となる一方、それぞれの地 三八年から府展として一九四三年まで。台北)、 公募美術展覧会が創設されていった。すなわ でなく、朝鮮・台湾・満洲においても官設の 「満洲国美術展覧会」(一九三八~一九四四年、 ソウル)、「台湾美術展覧会」(一九二七開催。 ち、「朝鮮美術展覧会」(一九二二~四四年、 日本の植民地支配の拡大に伴い、 である。それらは日本による文化的な 東京だけ

> のために、 する作品の不在と、中国での研究のタブー視 ては、今回の展覧会でも明らかなように現存 かんに行われている。だが、 制度化や西洋美術・日本美術の受容、 覧会の構成部門のジャンル分けなど、 の土地の「郷土色」の評価、 的な変遷を辿るだけでなく、 朝鮮美展、台展については、 域 いう概念そのものの構築についての研究がさ 一九八〇年代後半からである。文展・帝展や これらの官展について研究が始まるのは、 0 「近代美術」を形成していった。 研究状況は大きく立ち遅れている 満洲国展に関し 審查員制度、展 作品の主題、 作品調査や歴史 美術と 美術の

展を初めて一堂に集めた今回の展覧会は、 とは言え、 東京・ソウル 今回の展覧会は、現ル・台北・長春の官 のが現状である。

時点での最新の研究成果をまとめ、 なればと願う」と述べている。 にとってはそれぞれの近代美術への入り における共通性と独自性を明らかにし、 のではみえてこない、 図録の中で、 クン寿子さん(福岡アジア美術館・学芸員)は、 を持つ。展覧会の主担当であるラワンチャイ に導くきっかけとなるものとして重要な意味 「各官展を個別に取り上げていた 北東アジアの近代美術 次の段階 観客 白に

インパクション 195号 2014年6月 ● 110

てくださったラワンチャイクンさんに感謝し の事務作業に忙殺されるなか、 だければ、一層わかりやすいと思う。 れば作品や図録を実際に見ながら読んでいた うことができた。読者のみなさんには、 展覧会の見どころなどについてお話をうかが プニング直後、ラワンチャイクン寿子さんに、 点によって展覧会は構成された。福岡でのオー つのコーナーに分け、総数九三作家、一二九 福岡アジア美術館では、これらの官展を四 お時間を割い 展覧会 でき

1 張遇聖《画室》にみる 植民地朝鮮の画家の「近代」

品リストまで載っていて、間違いなく今後 の研究の基本文献になると思いました。 旨・規則・会期・会場・審査員表・出品作 年表だけでなく、それぞれの官展の開催趣 つの官展に関する論文や作家・作品解説、 図録がすごく充実していますね。 兀

図版1 張遇聖《画室》1943年、

リウム三星美術館蔵

後の二十三回までは韓国の資料集を見ながら 冊にまとまっていればいいな、と。 整理してリストを作っています。 しか発行されていないので、第二十回から最 朝鮮美展の図録は、物資不足で第十九回まで たところから出発したんです。基本情報が一 もらえる図録を作ることを目指したつもりで ありがとうございます。図録は、私が困っ 後々使って たとえば

じました。 画者のメッセージを感 究してほしいのか、企 展覧会なのか、誰に研 語ですが、誰に向けた 国語・中国語の三カ国 いる言語も日本語・韓 さて、この連載の読 一図録で翻訳して

明していただくとすれ ば五つ作品を選んで説 だけますか? 者にこの展覧会の見所 を具体的に教えていた たとえ

> 印象的だったのは、会場入口にあった《画室》 明いただけますか? と思ったんですけれども、そのあたりからご説 という作品。あれがひとつポイントの作品かな ば、どういう作品があるでしょう? わたしが

品ということであれば、北原さんと同じで、 したり、 私もこの作品がすごく好きですね。 り口ならではの見所でしょうか。その中で作 合的に紹介しているところが、 す。全体でいえば、 ども一緒に紹介するのは最初になると思いま た展覧会は日本でも開かれたことがあります 代の韓国や台湾や日本の西洋画だけをまとめ 作品を集めたのも初めてです。それから、 めてですが、そのテーマでこれだけの質量の 場合……、 五つ選ぶのは難しいですね。見所といった 同時代のこの地域の東洋画や書や彫刻な 強い影響を及ぼした地域の美術を総 まず、 官展という切り口自体が 戦前の日本が植民地統治 官展という切 近 初

ですね。 張遇聖の《画室》(一九四三年)(図版1)

に描かれたか 視覚表象と戦争の記憶』(青弓社) 北原恵(きたはらめぐみ)表象文化論・ジェンダー論。著書に『アー ・アクティヴィズム』『撹乱分子@境界』(インパクト出版会)、編著書に『アジアの女性身体はいか

描いた《画室》は、 されただろうな、 ますね。そうした点も、当時は肯定的に評価 究者たちはとても日本画的だ、とおっしゃい かれて濃密な色が付けられていて、韓国の研評価されています。とくに、これは細密に描 じさせるものです。こうした「郷土色」 男の子のようで、 図版2)を描いていたんです。一九三〇年代の のに変化していると思うのです。 の官展を主導した日本人審査員たちから高く なものは、朝鮮でも台湾でも満洲でも、 これは第二二回朝鮮美展の特選をとった作 黄昏のなか家に帰る赤い朝鮮牛と朝鮮の 張遇聖は、 朝鮮らしい「郷土色」を感 と。でも、 表現も内容も少し違うも 以前はこんな絵(《帰牧》 彼が四〇年代に 現地 豊か

ある張遇聖とチマチョゴリを着た妻ですね。 《画室》に描かれているのは、画家本人で

して描かれています。大きく見れば、モダン 履いていますが、チマチョゴリを着た女性と な男性と伝統的な女性というふうに描き分け た男性として、 性として、妻は、おしゃれなスリッパをい、そうです。画家は洋装でパイプを持っ

> ているグラフ誌にあると思います。 少し複雑で、そのヒントは妻が持っ れだけじゃなくて、この絵はもう垣間見えると思います。でも、そ られていて、当時のジェンダー

ているんですか?

ものを手にするモダンな存在でも ですが、グラフ誌という近代的な は、 います。 の美術史研究者』に教えていただ きました。これは重要な点だと思 具体的な雑誌名は分かりません |炫||淑さん||「官展にみる近代美 伝統的な「朝鮮らしい」存在 展の協力キュレーター 日本画のグラフ誌だそうです。 チマチョゴリを着た女性 韓国

たことを語っていると思うんです。 うのは単なる西洋化ではなく日本化でもあっ だった韓国では、台湾もですが、近代化とい さらに複雑かな、と。つまり、 あるんです。しかも日本画のグラフ誌なので、 日本の植民地 小さなモ

これは何のグラフ誌か分かっ



図版2

解する上で糸口になっています。 -フですが、 このグラフ誌は時代背景を理

グラフ誌を見る女性をまた眼差している

というところも、

視線が幾重にも錯綜していて

とご指摘されてましたが。 には、伝統的な家屋の中で座っている絵が多い か。日本人がチマチョゴリの女性を描いた場合 椅子に座って足を組んでいるポーズだったりと 興味深いです。そして、非常にモダンですよね。

そういう世界から抜けていくところがありま チョゴリの女性を描いていますが、 に近い視線で、 二〇年代には金殷鎬とかは、 伝統的な家屋などの中にチマ だんだん 日本人

図版3 中沢弘光《朝鮮歌妓》1940年、

京都市美術館蔵



図版 4 石井柏亭《紅蓮》1918年、 松本市美術館蔵

いうことですか?

たい妓生でこういう感じで描くのですね。 人が朝鮮の女性を描く場合は、 う方向が模索されたと言いますか……。 んが、伝統的な背景にじっと描くのと少し違 画家によって異なるので一概には言えませ モデルはだい 日本

版4)ですね。 版3)と、石井柏亭の《紅蓮》 中沢弘光の《朝鮮歌妓》一九四〇年 一九一八年 **図 図**

ええ。 日本人の画家は、 こんなふうに異民

三〇年代になると、モダンになってくると

男性にとって理想的なイメージとは違うだろ を組みグラフ誌を手にする知的で近代化され女性は、伝統的な民族衣装を着ていても、足 近にいる親しい人で同じ民族なんです。 伝統的な家屋の中に座らせて眺めるように描 家が描く淑やかで古風な、 異なるんじゃないか、 ような服装の人物を描いていますが、 は、エキゾチックな対象じゃなく、 の画家にとってチマチョゴリの女性というの 族である朝鮮の女性を、いかにも「朝鮮らしい」 た朝鮮女性のイメージなんです。 いてしまうところがあるんです。 うと思います。 と。つまり《画室》 ある意味、日本人 でも、 日本人の画 自分の身 内実は 同じ 朝鮮 0)

表情からは、単に親日的な面ばか が漂っています。絵の中の人物 どちらも冴えなくて、 人物を見ると、画家も妻も表情が と思いますが、 は彼のそうした立場も示している 日家の画家で、 また、 面白いのは、張遇聖は親 でも描かれている 日本画のグラフ誌 暗い雰囲気

のどこか鬱屈したような気分も想 りでなく、 植民地エリ ートの青年

張遇聖《帰牧》1935年、韓国国立現代美術館蔵



ませんが……。 像してしまいます。 これは、 深読みかもしれ

ことが読み取れるので、 な作品なんだと思います。 ともかく、 この作品からは、すごく多くの それだけ内容が豊か

> 2 | -----金基昶 | #4:ギチャン | 第時下の日常 《或日》の女性たち

これは、 金基昶の《或日》(図版5)もいい作品です。 先ほどの《画室》 と同じ年に制作さ

> 彩で、 れてて、 さらに静かな絵に見えてきますが……。 を失ったらしく、そのことを思って見ると、 か清々しい絵です。金基昶は小さい時に聴力 円陣を組むような構図もすっきりして、どこ 大らかな描線とパステル調の透明感のある色 とても明快に女性たちを描いていて、 やはり朝鮮美展にだされたものです。

ているように見えますね。 登場する女性たちは皆どこか他所を向い

です。子どもも向こうを見ています。 向いていて、 静かな絵ですが、 誰かの話しを聞いているみたい みんな同じ方向を

何かの集まりなんですか。

思います。 です。 たようです。 集まりは銃後の守りということになるんだと 実は「集まり」という別のタイトルもあるん そうです。 戦時下ですから、こうした女性たちの 戦後になると、それで批判も受け 「隣組」を描いたものらしいです。

れない。 もしかしたら、こちらに軍人がいるかも知

だから、 それが作品に近づくきっかけになると思いま とを考えながら見ると面白いと思います 向けさせる作品は、絵の外でおこっているこ ません。でも、こういう鑑賞者の視線を外に 会議でもしている日常の一コマなのかもしれ のタイトルは、 画家が朝鮮美展に出すためにつけたもともと 受けている最中なのかもしれませんが……。 そうですね、 ただ単に、近所の女性たちが井戸端 後方支援について何か説明を 日本語で《或日》なんです。

(3) 朝鮮美展のみの部門、 書・四君子

として制度的に取り入れられていくんですね 層に朝鮮美展へ参加してもらうための懐柔策 朝鮮美展を紹介する上では欠かせないジャン にも注目してほしいと思います。というのは、 ルだからです。 書や四君子は、 韓国の書と四君子 朝鮮の知識人 , (文人画)

> それで、 る部門になっています。 い制度で、台展にもなかったので、 も含まれたんです。これは文展・帝展にはな した部門として設けられ、 朝鮮美展では書が第九回展まで独立 四君子など文人画 特長のあ

これは軸としてかけられるわけですか?

れました。 掛け軸ですが、 この作品、 金應元《墨蘭図》(図版6) ほかに額装などの作品が出さ は

初の頃は入選していても、結局、次第に落選し、 書と同じ部門になったりしてます。 朝鮮美展の舞台からは消えてしまいます。 四君子など文人画は、東洋画に含まれたり こうした書とか四君子の位置づけが、 ただ、最 11 ま

> むとも感じるからです。 ですが、 介しているのは、朝鮮美展の特色だったから だと思います。 で、公式な近代美術の枠組みからも漏れたん います。朝鮮美展の舞台から消えていくこと にしてしまう状況を作った、 でも展覧会をする場合に、それらを置き去り 近代美術の枠組みに関わる問題を含 もう少し説明していただくと、 今回、 韓国の書や四君子を紹 とも考えられて 朝鮮美展

Ę 会の部門分けが違ったということですか? それから台湾と満洲では、ジャンル、展覧

本画と西洋画、 文展・帝展とも違います。 それから彫刻があって、 文展・帝展は日 少し



図版6 金應元《墨蘭図》 19c 末~ 20c 初 ギャラリー学古斎所蔵

後になって工芸が入ります。

工芸の部門が設けられるなど、 芸が同じようにあり、それに書や四君子が加 日本画にあたる東洋画と、 の考え方に次第に統制されていきます。 わっているんです。ただ、書は途中で廃止さ 朝鮮美展は、帝展にならって作られたので、 四君子も入選しなくなり、 日本の 彫刻、 代わって 「美術」

展を参考に作られたようです。 部門があったんですが、書については朝鮮美満洲国展は、東洋画と西洋画と彫刻と書の

れていませんし、文人画のような作品もほと 実現はしていません。書の部門は全く考えら 工芸や彫刻を設ける考えがあったようですが、 と西洋画の部門だけでした。台湾総督府には、 んど入選していないですね。 台展・府展では、初回から最後まで東洋画

演会でも台北市立美術館の林育淳さんがおっ しゃっていましたが。 台湾では写生が重んじられたと、昨日の講

同じです。

そうです。

それは朝鮮美展や満洲国展でも

れていくのです。 府展の審査でも、 た図画教育も行われています。そして台展・ 一郎などの日本人によって導入されていきま 台湾の場合、写生重視の考え方は、 日本式の学校教育の中で、 写生に基づく作品が評価さ 写生を重視し 石川欽

湾にはなかったということですよね。 ただ、専門的な大学レベルの美術学校は台

たわけです。 を手本に制作したような作品は、入選しなかっ う状況ですから、 いるかどうかも評価されたはずです。そうい ではアカデミックな表現や技法を身につけて 授だったり、 す。官展の審査員も多くは東京美術学校の教 生に基づいた手堅い写実表現を習得していま で、女性は女子美術学校などです。 留学をするんです。 口の作家を目指す人は、 は 台湾にも、 文展・帝展の重鎮なので、 写生によらずに、 男性は東京美術学校など 朝鮮や満洲にもなく、 いわゆる日本内地へ 古画など そこで写 審査 プ

<u>4</u> 植民地台湾のアイデンティティを 求めて! - 陳進《サンティモン社の女》

見された点で話題性があります。 台湾の作品もたくさん紹介したいのですが、 の《アコーデオン》(図版7) は最近発

不明で、 です。第九回台展入選作ですが、 てきたそうです。 とても清楚で優雅な、 数年前に親族の家のベッド下 陳進の女性像の典型 ずっと行方 から出

よく見つかりましたね

回は特別よ、と貸してくれました。 で海外貸し出しには応じていないらしく、 北市美が所蔵していますが、 くれますし、 な作品が出てくるんじゃないかと期待させて たぶんこんなふうに、これから戦前の貴重 そう期待したいですね。 貴重な作品なの 今は台

版9) もそうで、とくに《帰途》は、 うな筆さばきで牛を活き活きと表現していて 特別な作品はほかにもたくさんあります。 山の《帰途》(図版8) や《故園追憶》(図 流れるよ

(図版10) た林玉山ならではであり、台湾人アイデンティ 見事です ティも感じさせます。 伝統絵画の技法をしっかり持ってい し、筆致や水墨を主体にしているあ 台湾神社があった円山を描いた 郭雪湖の《円山付近》

が含まれているんです。 の絵には植民地統治の様々なシンボル 鉄橋は近代化を意味しているので、 もので、 台湾神社は日本の統治の象徴だ 遠くには鉄橋が描かれていま でも、そうし

陳進 《アコーデオン》 1935 年、台北市立美術館蔵 ていて、ほ 一で丹念に精 で月念に精 物が、 飽き を受賞した 台展で特選 ん。 んとうに見 ませ

生まれたんです。 様式」というのが えていき、「郭雪湖

日本では、

現を真似る人が増ので、こうした表 物が、何十種多様な植 くらい、 第二回 多 をはじめ、 重ですね。

-そうなんですか。陳進の《アコーデオン》 これらの作品が日本で見れるのは貴

この展覧会を逃したら、 そんな



林玉山《帰途》1944年、台北市立美術館蔵

館に行っても、 とは違うんです。 です。そこが、 具で描いているので、 れは日本画と同じで、 くに紹介しているのは東洋画なんですが、こ に見る機会はないと思います。 長期間の展示ができる油彩画 だから、 長い展示ができないん 紙や絹に水墨や岩絵の 台湾や韓国の美術 また、 今日と なんですが、 けたモダンガー

運がよくないと、 それも今回の見所の まとめて東

> 図版 9 林玉山《故園追憶》 1935 年、国立台湾美術館蔵

> > つですね。

に近代的な高等教育を受 の女子美で学んだ、 台湾の女学校を出て東京 も裕福な家庭の出身で るんです。陳進は、とて 女自身のイメージでもあ そのイメージは、実は彼 ガールを描いています。 台湾の教養のあるモダン 性に、楽器など持たせて、 のファッションを着た女 コーデオン》は優雅な作 話を陳進に戻すと、《ア モデルはお姉さん 陳進は、よく流行 まさ

のが全然違うな、 一九三六年の文展監査展に入選した作品 きの《アコーデオン》の翌年に制作して、 モン社の女》(図版11)だと思います でも、陳進の一番いい作品は《サンティ 絵に漂う緊張感みたいなも ね。さっ

ルだったんです。



図版 10 郭雪湖《円山付近》1928年、台北市立美術館蔵

図版 11 陳進《サンティモン社の女》1936年、福岡アジア美術館蔵

単ですが、 たと思います。 緊張感や新鮮さもあっ はこれが初めてで、 を描くこと自体、 かっています。 また、

るんですか? これは原住民を描いてい どういうところで?

ています。 題にむきあったときの いけないので手間もか くには取材もしないと をモデルにするのは簡 まっているというか そうした分緊張感も高 面に収まらないので、 置を緊密にしないと画 なっていて、 の視線もずっと複雑に 多いので、 また、 原住民を描 構図も人物 原住民を描 登場人物が お姉さん 人物の配 原住民 陳進

> スのモダンガール^レ ルとは違う重いものなんです。 ・マは、

実際に現地に行ったということですか?

たので、 ところで、 また、学校の近くには原住民の資料館もあっ チや写真が残っています。 が夏休みに入った頃に取材に行ったようです。 屏東の女学校の先生をしていて、 デル的な先住民集落として日本でも知られた ん。ご遺族のもとには、いまも取材時のスケッ そうですね。 そこでも刺激を受けたかもしれませ 屏東にあったんです。 サンティモン社は、 どうも学校 陳進はその 当時、 モ

これは何を描きたかったんでしょうか?

美を描きたかった」と言ってますが、 具体的にどういうことかな、 難しい質問ですね。 と思います。 陳進は それ 郷土 は

陳進は原住民ではないわけですよね。

陳進は台湾の植民地エリ ト層の出身です

を強く見返しているのがいいですよね。 も侵されない独自な台湾の姿みたいに見えま 理想的にも描かれています。それは、何者に ジも見られるんですが、とても凛とした姿で 刺青や黒い肌や裸足などに「野生的」なイメー ます。そのため、この絵の女性たちは、手の で「郷土美」を表現しようとしたんだと思い 査員の評価を心得て、 たようです。陳進は、 という点でも、原住民はうまく合うテーマだっ の女性がこちら側を見返す構図にもなってい 人男性の重鎮たちもいたんですが、植民地側 かにこちら側、こちら側には審査をした日本 マの作品が見られるんです。 ティです。 が、原住民は当時最下層に置かれたマイ 作家に対して奨励された「郷土色」の表出 しかも、 台展だけでなく帝展などでも原住民テー その中で座っている女の子が、こちら 日本人から見ると台湾を象徴する存在 女性たちの視線は複雑に流れて 方で、 こうした時代の中で審 台湾を象徴する原住民 当時、 台湾在住

画面右端から二人目は、女の子なんですね。

らも作られていると思います。 感は、女性たちのこのような眼差しの流れかみんな女性です。この絵に張りつめた緊張

づいていただけるかもしれません。 て展覧会をご覧いただければ、 の作品は出来上がっています。時代背景を知っ の構造みたいなのが複雑に交わった中で、こ 民地の台湾。こうした幾つもの関係とか社会 査員と女性画家、それから宗主国の日本と植 日本人と台湾人陳進と原住民、 作品により近 また男性審

安かった、と陳進は言ったそうです。 品は原住民を描いているから(絵の値段が) てくるエピソー に対する世間の眼差しとか、 い話ですが、 余談ですが、 当時の台湾の地位だとか先住民 ドだと思います。 お弟子さんによると、この作 社会状況が見え 笑えな

また、

満洲国展には中国人も参加していた

5 作品を探し求めて 満洲国展

ええ、 昨日、 江川佳秀さん (徳島県立近代

満洲は少ないですよね

ということでしょうか。

で失われたものもあると思います。 戦後は文化大革命も起きますから、

連軍が侵攻して、 ただ、 第八回の満洲国展の開会式の朝にソ みな展示をそのままにして

分見つかったと聞きますが。 映画も満映が撮ったものがロシアで大

13

ŧ,

に出ている安井曾太郎の《承徳喇嘛廟》(図版

安井が満洲国展の前身となる展覧会

の審査に行ったときに、

承徳に取材して描い

だから、 逃げて、

第八回は開かれなかったらしいです。

当時のことを知っている人たちは、

管されているかもしれない、とおしゃいます 各所に放置された作品はロシアに移されて保

・確かなことは何も分かっていません。

そうなんですね。

二〇〇七年に、

満洲の

は訪ねた名所のようで、

赤羽のスケッチの中

たものです。赤羽たち満洲在住の作家も一度

ます。 コレクションが、 実業家・首藤定が集めた東洋美術 アでの調査は今後必要だと思 に里帰りして展覧会が開かれま したから、それも考えると、 ロシアから大分 ロシ

たと聞いたんですが。 今回新しく作品が見つかっ

するとよく行ってて、 ところです。日本人の画家は訪中 きました。承徳は、 明ですが、そのスケッチの ています。この作品自体は所在不 《瑠璃塔》 ある都市で、 福壽廟の瑠璃塔》(図版12) 赤羽末吉は、第四回満洲国展に を出して特選を受賞し 清朝の離宮があった 北京の北東に この展覧会 が出て 《承徳

図版 12 赤羽末吉《承徳福寿廟の瑠璃塔》 1940年、ちひろ美術館蔵

満洲国展出品作はまったく所在不明です。 ましたが、 美術館学芸調査課長)に講演をしていただき 満洲関係の作品は本当に少なく

作品が残っていないんですか?

しいので、 のときは、 係のは出てきません。 ようです。 を持ち帰った人もいるのですが、 満洲に渡った日本人の中には、 大きな作品は持ち帰られなかった 行李一つしか持ち出せなかったら また、 戦後の引き揚げ 満洲国展関 戦前に作品

疑問です。 なるので、 んですが、 残っていたとしてもひたすら隠している そのことは日本に協力したことに 戦後に絵が保管されたかどうかは

その中

安井曾太郎《承徳喇嘛廟》1938年、愛知県美術館蔵

くつかあります。 には、承徳に取材したものが

ですか? はラワンさんが見つけられたん 《承徳福壽廟の瑠璃塔》

場だと思いました。 です。広い会場に大作が並んでの写真かご存知ではなかったん もらいましたが、ご遺族は、 会場風景写真 (図版14) を見せて いるので、たぶん満洲国展の会 第四回満洲国展の 何

後は絵本作家として生きていく で戦前は日本画家でしたが、 人ですね。 赤羽末吉は、満洲国展の常連 戦

『スーホの白い馬』ですね

一緒に、満洲時代のスケッチな ええ。それで、絵本の原画と ちひろ美術館に保管され



図版 14 第4回満州国展の展示風景(右側に特選受賞の赤羽末吉≪瑠璃塔≫が展示。)

満洲国展の出品作品は残っていないので、

ます。 に、これはあの写真の中の絵と一緒だと思いたスケッチがあったんです。それを見たとき 待される調査領域になっていくんじゃないで 満洲国展の出品作だけでなく満洲時代のもの 展覧会や研究につながっていくと思います。 きたという話はよくあることで、 ません。展覧会をすると、本当に作品が出て にも有ります、という方が出てくるかもしれ 本当に唯一の関連資料として今回展示してい

でも、

この展覧会をやったら、

我が家

それが次の

[追記・福岡アジア美術館での会期中に、 しょうか。

所在がわからないからこそ、

これから期

に所蔵されていることが判りました]

られる《室内》(図版15)が和歌山県立美術館 家の大久保一の第三回満洲国展出品作と考え

ラワンさんは図録の中で、

官展や植民地

これからの未来の二〇年に向けたと書いてらっ 史がまだ二〇年しかない。だからこの展覧会は 期の展覧会についての研究が始まって二〇年、歴 それはどういう意味でしょう



図版 15

大久保一《室内》1940年、和歌山県立美術館蔵 目をむけないわけにはいかないんです。 をしようとしたら、その要となった官展に

品の発掘や調査に結びついていけばいいと思 に関心をもつ人が出てきて、 とそこで生まれた近代美術を比較できる土 うすると、また違う切り口で新たな展覧会 会にしたことで、次の扉が開けばいいです。 が、これまで触れられなかった領域を展覧 からの二〇年がどうなるかは見えません 台が少しはできたかな、と思います。これ たんですが、これで初めてそれぞれの官展 が企画されていくんじゃないでしょうか。 いますし、 また、今回、初めて各官展を一堂に集め 実際にそうなると思います。そ さらに新たな作

アジ美はやるべきところである。 アジ美だから出来たんでしょうね。そして

やっぱり、

東アジアの近代美術の展覧会

よく決断してやられたと思います

二〇年のスタート地点になってほしいな、

ح

いう願いです。具体的には、

この展覧会を機

たら、やっと生まれたこの展覧会が、次のがあってやっと展覧会になったんです。だっのが難しいものでしたが、二〇年の積み重ね

いました。れは、アジ美がやらないといけない、

とは思

深く考えずに企画したんです

はず、と思いました。 きたなら、今回のような展覧会も開催できる るものだったんです。それで、これが開催で 覧会の中身は、実際には台展・府展を紹介す 史とほぼ重なるんです。だから、 統治下の台湾美術は台展・府展など官展の歴 きっかけになっています。 という小規模の展覧会を行ったのは、今回の ただ、二〇〇六年に、『日本時代の台湾絵画』 台湾の場合、 その時の展 日本

く見渡したいという気持ちがありました。 覧会だったので、どうしても一度全部を等し 覧会ですし、 また、官展は北東アジアで唯一共通する展 各地の美術活動でも要となる展

五年がかりで、実質的に動き出して

研究者や学芸員さんに相談したのは五年ほど きっかけは、二〇〇六年ですけど、現地の ています。その中に、今回出品していただ



表紙は、李仁星の作品《窓辺》1934年 うべき展覧会ですね。

展覧会を見るとき、作品解説が必要だと思い 美術家が中心になって活躍していたのかと誤 覧会だけを見ていると、朝鮮美展では朝鮮人 教えてくれました。 解されかねない。でも充実した図録が史実を ました。いろんな見方ができるし。今回の展

市美さんに企画に参加していただきました。

大変でしたか。

前で、数年前から兵庫県美さん、そして府中 図版 16『官展からみる近代美術』展図録

書になればいいなと思っています。 成し、基本的な資料も加えたので、 不便だったと思います。申し訳ありません。 会場に解説キャプションが間に合わず、

きまして、 お忙しいときに長い時間をとっていただ ありがとうございました。

くださった韓国や台湾の研究者や学芸員たち よかったのですが……。企画に深く関わって

ほんとうは、韓国や台湾へいろいろありましたからね。

韓国や台湾へも巡回できたら

も、巡回したかったと思います。

けれど、会

図録の論文と作家・作品解説は日中韓で作 簡単な辞 ۳

実現できたんです。国際共同企画と言 それはもうラワンさんの熱意ですよね。

展にみる近代美術」■展覧会「東京・ソウル・台北・長春 官

府中市美術館 三月一八日 福岡アジア美術館 二〇一四年二月一三日 二〇一四年五月一四日~ 六月

八日 月二日 兵庫県立美術館 二〇一四年六月一四日 七

図録 E-mail:mail@uchu-do.jp せ先・福岡アジア美術館ミュージアムショッ 11000円 美術館、美術館連絡協議会(読売新聞社)、価格・ 福岡アジア美術館、府中市美術館、 「宇宙堂 space」 著編者・福岡アジア美術館 注文・在庫についての問い合わ 電話 092-262-8006 兵庫県立 発行者・

(二)〇一四年二月十六日、 於・福岡アジア美術館

要なコレクションをたくさん拝借できました 行きませんでした。ですが、韓国や台湾の重 期や予算や、そして社会情勢もあってうまく

ほんとうに現地の方々の協力があって